



Sweet time, at Home.

Prologue

おやつにしよう。

部屋いっぱいには漂うバニラビーンズの香り、
 シュンシュンと沸きたつ湯の音…。
 何気無い日常のひとつコマが、
 家族の「甘い記憶」へつながっている。
 お菓子とお茶の準備がととのったら、
 さあ、ダイニングテーブルに集合です。

一緒に作って、一緒に食べる。この繰り返し、宮村さんファミリーの大切な思い出になっていく。子どもたちのお気に入り、抹茶のガトーショコラ。



「俺は「映え」を大事にするから」と、器遊びや盛り付けにこだわるお兄ちゃん。
 「お店には興味ないみたい」と笑う千紗さんだが、両親の背中から色んなことを
 学んでいるはず。

「家族の記憶は、 手作りのお菓子といっしょ」

学校の夏休み期間は、お店もお休み。子どもたちとみっちり過ごします。今年の夏は出かけられなかったので、工作をしたり、簡単なおやつを作ったり。シンプルな材料の自家製アイスクリームにハマって、何度か作りましたね。カスタード好きな子どもたちのために、バニラビーンズをたっぷり入れて。時にはお店（坪井日々菓）の新作を試食してもらおうこともありますが、子どもって正直ですよ。ママ、美味しい！「もう一個ちょうだい」と言われると、ちよっと自信がきます（笑）。

いつも忙しい夫（林業家の宮村啓さん。今年8月「坪井日々菓」隣に森林と都市をつなぐコンセプトショップをオープン）も、夕食後のおやつは一緒に。特別お喋りではない夫婦ですが、甘いものを傍らに、何気ない話をするのが良いみたい。お店をはじめて以来、家で手作りする機会は減りましたが、こうやって喜んでくれる家族の笑顔を見ると、改めてお菓子っていいなと思うんです。

[坪井日々菓] 店主

宮村 千紗 | Chisa Miyamura

[KOKOPELLI]や[TATOMIYA]など県内の実力店で経験を重ね、2020年春に独立。サブレや季節のパウンドケーキ、タルトなど約30種類が並ぶ2坪ほどの小さなお店は、瞬間に客足が絶えない人気パティスリーの仲間入りを果たした。

Instagram @tsuboihibika

edit & text : Azusa Fukunaga
 photo : Akiko Yamaguchi, Mototsugu Maeda
 text : Asako Iseki
 design : Takenori Sugimura (OVAL)

